

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元のHPなどをご確認ください。

公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 2023年度研究助成等募集について

対象となる研究：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデンレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究、(1) ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究、(2) ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料および生物活性物質に関する研究、(3) ひま種子の増産に資する育種および栽培技術に関する研究、(4) 上記以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究。応募資格：大学・公的研究機関等の営利を目的としない研究機関に所属する研究者・研究グループ。助成件数と金額：1件100万円以内、1~2件程度採用予定。助成金の使途：機材費、試薬、消耗品、謝金等研究推進に必要な経費に充当。募集期間：2022年11月14日(月)~2023年1月13日(金)当日消印有効。募集の詳細および申請書等は三井住友信託銀行HP (<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>) 参照。申請書の提出先・照会先：105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 申請口 電話(03)5232-8910(受付：平日9時~17時) FAX(03)5232-8919

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 令和5年度研究等助成募集 のお知らせ

A. 研究助成：(1) 助成対象：食品添加物の安全性、有用性、品質等食品化学に関する調査研究等。(2) 助成金額：1件50万から150万円程度(令和4年度助成件数15件)。B. シンポジウム等開催助成(前期)：(1) 助成対象：令和5年4月1日から令

和5年9月30日までの間に開催される食品化学に関するシンポジウム等。(2) 助成金額：1件15万から50万円程度。C. 応募資格：本邦の大学、研究機関等において研究活動等に従事している者。D. 募集期間：令和4年11月15日(火)から令和5年1月16日(月)〔必着〕。E. 募集要項および申請用紙の入手：HP (<https://www.ffcr.or.jp>) より入手願います。

第12回新化学技術研究奨励賞 のご案内

公益社団法人新化学技術推進協会(JACI)では、産学官交流連携活動の一環として、化学産業界が必要とする研究課題を設定し、その実現に貢献することができる若手研究者の独創的・萌芽的研究テーマを発掘・奨励するために、新化学技術研究奨励賞を設けています。これまでの研究成果を表彰するものではなく、魅力的な研究テーマ企画の実行を応援するものです。奮ってご応募下さい。募集課題：全13課題。環境技術、エネルギー、資源代替材料、バイオマス、エレクトロニクス材料、マイクロナノシステムと材料・加工、ライフサイエンス材料・反応、脳科学、コンピュータサイエンス、先端化学新素材・反応などの分野。応募資格：国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事する方で、2022年4月1日時点で満40歳未満の方。募集期間：2022年12月9日(金)~2023年2月6日(月)。選考件数：各募集課題につき原則として1件。助成金：1件につき100万円。応募方法：協会の募集HP (https://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_12_2023.html) をご参照下さい。問合せ先：JACI新化学技術研究奨励賞担当 電話(03)6272-6880 E-mail: jaciaward12@jaci.or.jp

第2回羽ばたく女性研究者賞 (マリア・スクウォドフスカ= キュリー賞)のお知らせ

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と駐日ポーランド共和国大使館は、日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的に、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰します。多くのご応募をお待ちしております。対象：2023年4月1日時点で博士学位取得後5年程度まで*の女性研究者(ポスドクを含む)、大学院生(博士後期課程)、およびこれらに相当する者。*ライフイベントなどによる研究活動休止期間を勘案する。科学技術に関連する幅広い研究分野を対象。国籍：日本、居所：不問。内容：最優秀賞1名(賞金100万円、ポーランドへの渡航・研究機関等を訪問するための滞在費を支弁(滞在は2週間程度。渡航は2023年秋を想定)) 奨励賞2名(賞金各50万円)。応募締切：2022年12月12日(月)日本時間12時。詳細HP：<https://www.jst.go.jp/diversity/researcher/mscaward/index.html> 問合せ先：JSTダイバーシティ推進室 E-mail: diversity@jst.go.jp

東洋合成記念財団 研究助成の募集

(公財)東洋合成記念財団は2023年度の研究助成の募集を行います。詳細は下記HPをご参照、あるいは下記連絡先にお問い合わせ下さい。〔募集要項〕助成対象研究テーマ：有機・無機および高分子化合物の光化学に関する研究・感光性有機化合物、感光性樹脂およびリソグラフィ関連材料に関する研究・有機化合物の不純物除去技術または分離精製技術に関する研究・化学プロセス工学に関する研究・香料および香気成分に関する研究・新規触媒の開発およびそれを用いた有機合成反応に関する研究。対象者：国内の大学または学術研究機関に常勤し、研究を主体的に行っている45歳以下の研究者、同一の研究テーマで他の財団の助成金等を受けていない方。募集期間：2022年12月1日(木)~2023年1月31日(火)。助成内容：助成金額200万円/件。助成件数2件。連絡先：千葉県市川市上妙典1603 (公財)東洋合成記念財団事務局 電話(047)320-5766 E-mail: tgk_zaidan@tgcfnd.or.jp <http://www.tgcfnd.or.jp/>

IUPAC AWARDS IN ANALYTICAL CHEMISTRY 受賞候補者の募集について

IUPACの分析化学ディビジョンでは2023年1月31日(火)を締切として下記2つの賞の受賞候補者を募集しています。(1) Emerging Innovator Award in Analytical Chemistry 一過去年以内に博士号を取得し、独立した研究業績を形成している若手研究者を対象とします。(2) IUPAC Analytical Chemistry Medal 一既刊の研究論文などの執筆物の数およびその質、また国際連携で関与した次世代育成への寄与などの実績・経験が評価対象となります。上記2つの受賞候補者について、分析化学分野の世界中の研究者からの応募をお待ちしております。応募方法：HP (<https://iupac.org/iupac-awards-in-analytical-chemistry-2022/>) 参照。*所定の申請書に必要事項記載。募集期間：2023年1月31日(火) 必着。連絡先：IUPAC Analytical Chemistry Division (ACD, Division V) E-mail: ACD-award@iupac.org

JAXA 2022年度 国際宇宙ステーション (ISS)・ 「きぼう」利用テーマ募集

JAXAでは、2022年度国際宇宙ステーション (ISS)・「きぼう」利用テーマとして、下記の2つの募集を開始しました。詳細はHP (<https://humans-in-space.jaxa.jp/kibouser/pickout/73401.html>) 掲載の各URLをご参照下さい。募集対象：1) 2022年度「きぼう」での静電浮遊炉 (ELF) を利用した材料研究テーマ募集〔基盤研究利用コース〕、2) 2022年度「きぼう」利用マウスサンプルシェアテーマの募集、3) 「きぼう」船内科学利用のアンケート。「きぼう」船内科学利用で、よりインパクトの高い成果創出のため、研究者の興味のある領域や有望とされている領域について、アンケートへのご協力をお願いしております。アンケートの結果は、「きぼう」を含めた今後の地球低軌道利用における募集等を実施する際に活用させていただきます。ご協力いただける場合、上記HPのアンケートフォームよりご協力をお願いいたします。募集の締切：2022年12月15日(木)12時(日本時間)。応募先：(一財)日本宇宙フォーラム (JSF) 宇宙利用事業部 Z-KIBOAO@ml.jaxa.jp ただし、上記3)のアンケートは、3)で指定するフォームよりご回答をお願いいたします。